

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 47 週分・11 月 17 日～11 月 23 日)

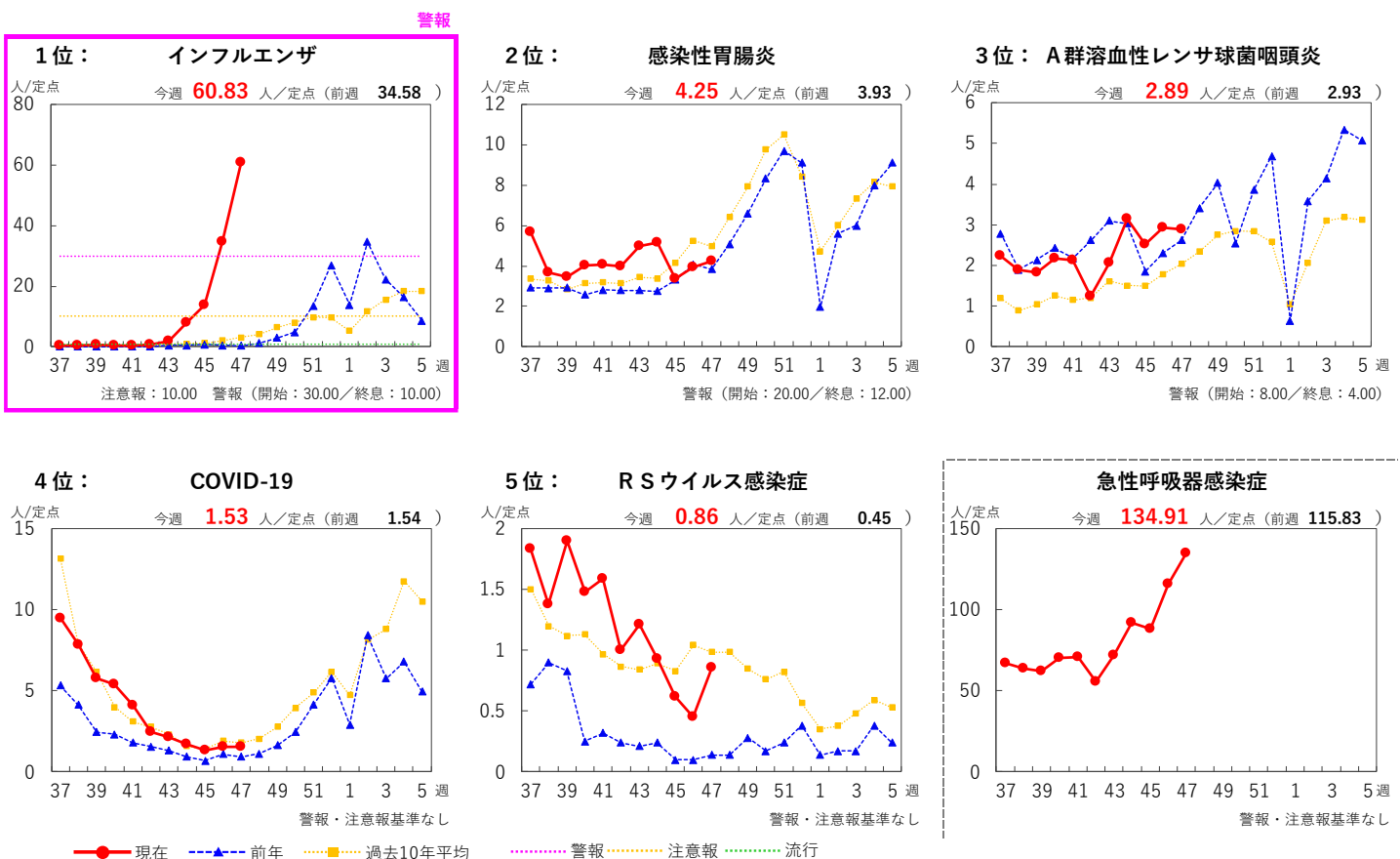
■今週の主な動向

○インフルエンザの患者報告数が大きく増加しました。

県内の患者報告数は今週 60.83 人/定点となり、先週から大きく増加しました。管内別では、富山市 (81.06 人/定点)、高岡 (67.23 人/定点)、中部 (47.40 人/定点) の順に多く報告されています。全年齢層で増加傾向であり、特に 15 歳未満の小児期の報告数が大きく増加しました ([インフルエンザの疫学所見](#))。今後さらなる感染拡大が懸念されます。感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (11/23)



厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件 (90 歳以上、男性)
 四類感染症 レジオネラ症 1 件 (50 歳代、男性、肺炎型)
 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (60 歳代、男性)
 梅毒 3 件 (①第 17 週診断分：30 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期
 ②第 46 週診断分：60 歳代、男性、晩期顕症梅毒
 ③50 歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期)
 百日咳 2 件 (①10 歳未満、女性 ②10 歳代、女性)





HIV/エイズを正しく知ろう 12 月 1 日は世界エイズデー

《 インフォメーション 》

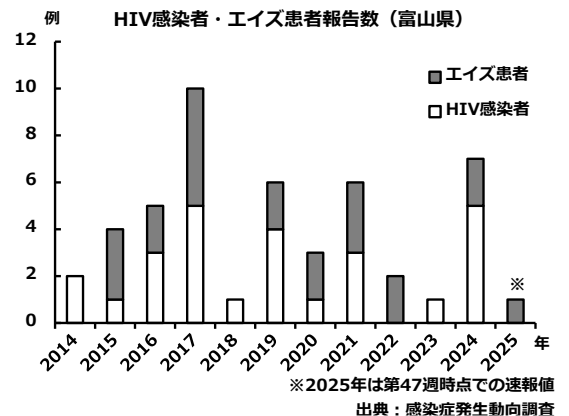
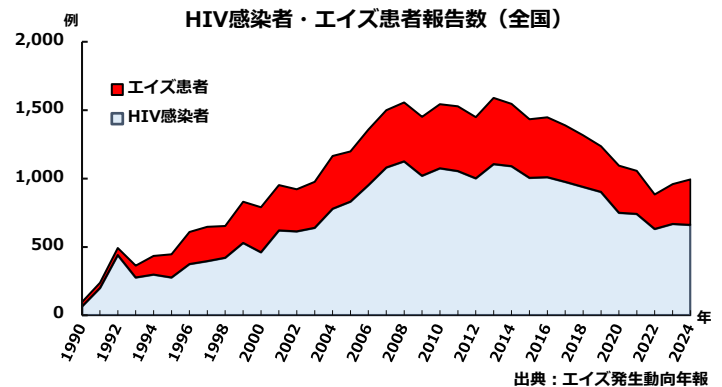
●世界エイズデー（12 月 1 日）

後天性免疫不全症候群（AIDS、エイズ）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染することによって生じます。HIV に感染後、自覚症状のない時期が数年から十数年続きます。その間に免疫が徐々に低下し、日和見感染症を発症するようになります。その中でも、代表的な 23 の指標疾患のいずれかを発症した時点でエイズ発症と診断されます。

全国における HIV 感染者とエイズ患者を合わせた年間新規報告数は、2013 年の 1,590 例をピークにやや減少傾向でしたが、2023 年の報告数は 960 例、2024 年は 994 例となり、2 年連続の増加となっています（全国報告数：上図）。県内における過去 10 年間の報告数は 1～10 例で推移しており、今年の報告数は第 47 週時点でエイズ患者が 1 例のみです（富山県報告数：下図）。

HIV は感染力が弱く、日常生活では伝播しません。感染経路は、主に「性的接触による感染」「血液を介しての感染」「母子感染」の 3 つに限られています。また、治療法の飛躍的な進歩により、HIV 感染者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことが可能となり、HIV に感染していない人と同等の生活を送ることが期待されるようになりました。近年では、HIV 治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に、最低 6 か月以上継続的に抑えられている HIV 感染者からは、性行為によって HIV が感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable（検出限界値未満）＝Untransmittable（HIV 感染しない）、略して「U＝U」（ユーイコールユー）と呼ばれています。

エイズに関する正しい知識の普及、エイズのまん延防止及び患者や感染者に対する差別や偏見の解消等を図ることを目的として、WHO は 12 月 1 日を「世界エイズデー」と定めています。富山県では、日頃の HIV/エイズに関する相談や検査に加えて、街頭キャンペーンや富山市保健所、中部厚生センター、砺波厚生センターにおいて、平日夜間・休日検査（原則匿名・無料）が実施される予定です（[富山県／富山県エイズ予防キャンペーンの実施について](#)）。世界エイズデーを機に、一人ひとりが HIV/エイズを自分のこととして捉え、正しい知識を持って行動することが、感染拡大の防止と差別や偏見のない社会の実現につながります。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第47週 2025年11月17日～2025年11月23日）

分類		疾患	今週報告分（第47週）					累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核					1	1	6	2	19	13	44	84	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	12	7	29	54	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎									5		1	6	
		A型肝炎									1	1		1	3
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1			1
		デング熱										1			1
		レジオネラ症			1				1	1	1	4	3	17	26
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3		9	13	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	3	4	10	
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		8	4	22	39	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒					1	1	5	2	9	4	32	52	
		百日咳					2	2	29	143	147	45	278	642	
		風しん											1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	568	605	2,157	512	2,499	6,341	10,290	9,397	35,797	8,554	44,245	108,283		
		81.14	121.00	165.92	85.33	156.19	134.91								
	インフルエンザ	248	237	874	203	1,297	2,859	1,425	1,263	3,575	1,371	4,552	12,186		
		35.43	47.40	67.23	33.83	81.06	60.83								
	COVID-19	17	8	9	31	7	72	1,688	706	1,914	1,480	1,803	7,591		
小児科定点（28定点）		2.43	1.60	0.69	5.17	0.44	1.53								
	R Sウイルス感染症	1	7	8		8	24	71	66	363	58	406	964		
		0.25	2.33	1.00		0.80	0.86								
	咽頭結膜熱	3		3		2	8	83	43	326	6	114	572		
		0.75		0.38		0.20	0.29								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	9	32	4	31	81	170	285	1,727	222	2,318	4,722		
		1.25	3.00	4.00	1.33	3.10	2.89								
	感染性胃腸炎	32	18	15	4	50	119	1,264	749	1,547	555	4,972	9,087		
		8.00	6.00	1.88	1.33	5.00	4.25								
	水痘		2	5		5	12	11	95	73	26	306	511		
			0.67	0.63		0.50	0.43								
	手足口病							4	8	60	17	70	159		
	伝染性紅斑			7	2	11	20	140	329	782	163	1,247	2,661		
				0.88	0.67	1.10	0.71								
	突発性発しん	1	1	4	1		7	14	28	131	35	156	364		
		0.25	0.33	0.50	0.33		0.25								
	ヘルパンギーナ							30	54	290	62	226	662		
流行性耳下腺炎				1		1	3	12	9	10	30	64			
			0.33			0.04									
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100		
流行性角結膜炎							9	19	30	26	3	87			
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1	1	2		
											1	1	2		
	無菌性髄膜炎														
	マイコプラズマ肺炎			2			2	28	9	41	36	15	129		
			2.00			0.40									
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5			
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	6		5	3	6	20	6	2	10	5	28	51		
	COVID-19による入院患者	4			1	7	12	134	112	101	154	318	819		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

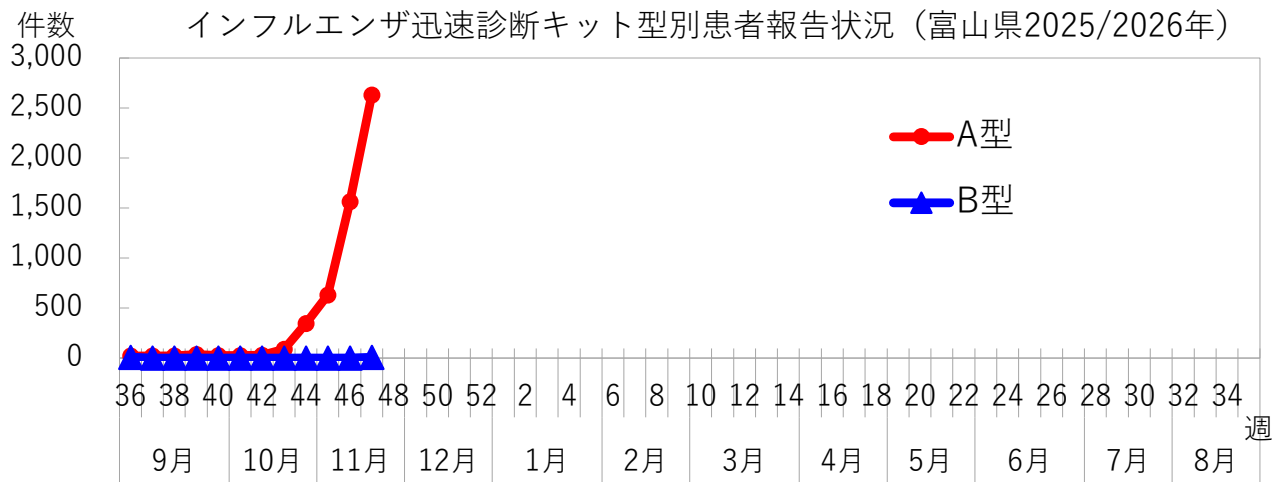
現在、下の表によると、A型が92.0%となっています。

第47週（11/17～11/23）：富山県 60.83人/定点（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	228	1	19	248
中部	5 / 5	206	4	27	237
高岡	13 / 13	763	2	109	874
砺波	6 / 6	197	1	5	203
富山市	16 / 16	1236	0	61	1297
富山県	47 / 47※1	2,630	8	221	2,859
富山県累計（2025年36週～）		5,443	23	379	5,845

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。

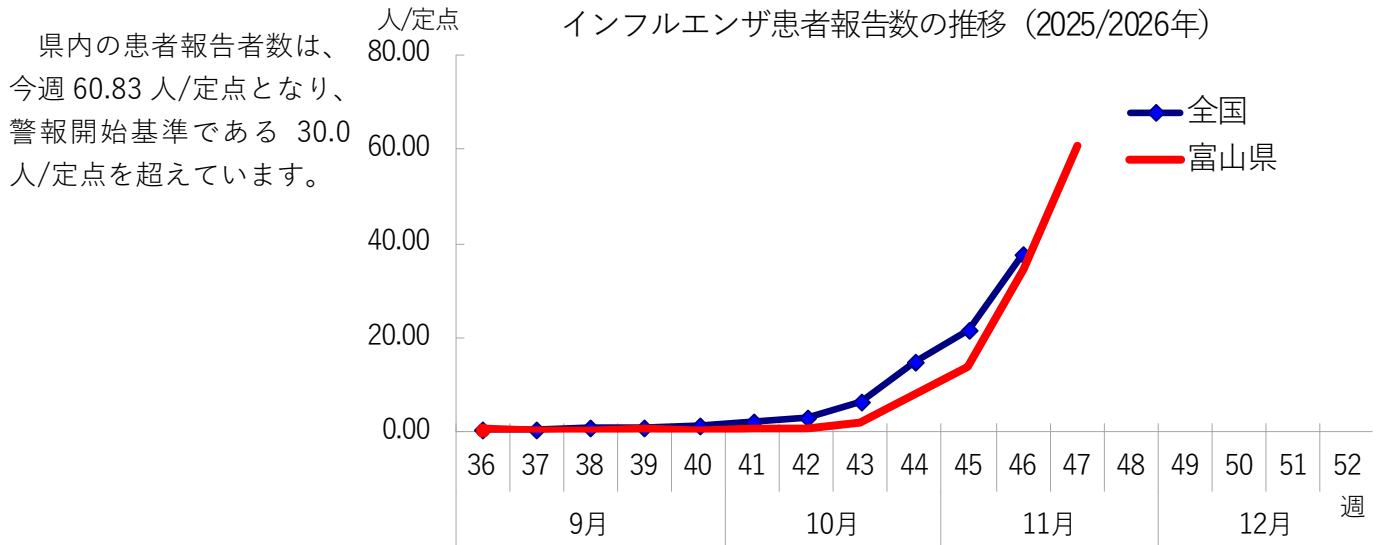
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 47 週（11/17～11/23）

富山県 60.83 人/定点 [新川 (35.43)、中部 (47.40)、高岡 (67.23)、砺波 (33.83)、富山市 (81.06)]

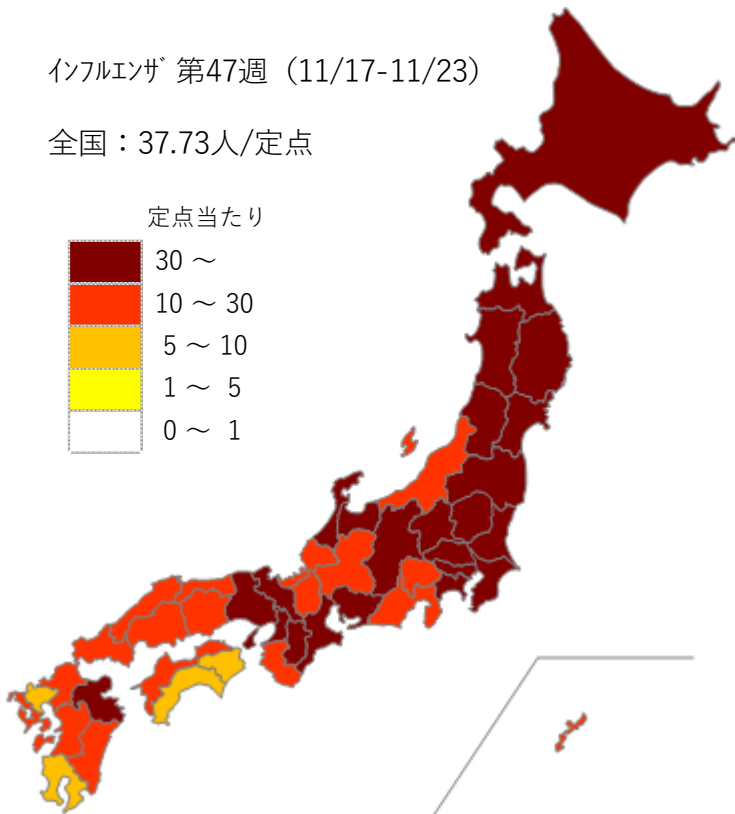
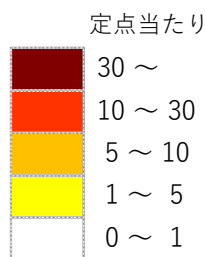


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 46 週（11/10～11/16）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 37.73 人となり、前週の 21.82 人より増加しました。46 都道府県で前週より増加しています。1 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第47週 (11/17-11/23)

全国：37.73人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	44.01 ↑	滋賀県	27.28 ↑
青森県	31.50 ↑	京都府	41.55 ↑
岩手県	55.90 ↑	大阪府	31.57 ↑
宮城県	80.02 ↑	兵庫県	40.57 ↑
秋田県	54.60 ↑	奈良県	33.95 ↑
山形県	47.05 ↑	和歌山県	29.40 ↑
福島県	58.54 ↑	鳥取県	13.62 ↑
茨城県	43.94 ↑	島根県	18.20 ↑
栃木県	49.60 ↑	岡山県	21.00 ↑
群馬県	52.16 ↑	広島県	18.51 ↑
埼玉県	70.01 ↑	山口県	25.92 ↑
千葉県	53.47 ↑	徳島県	8.59 ↑
東京都	44.75 ↑	香川県	15.73 ↑
神奈川県	55.12 ↑	愛媛県	27.33 ↑
新潟県	24.53 ↑	高知県	7.08 ↑
富山県	34.58 ↑	福岡県	20.89 ↑
石川県	38.40 ↑	佐賀県	8.92 ↑
福井県	28.03 ↑	長崎県	23.92 ↑
山梨県	21.91 ↑	熊本県	17.96 ↑
長野県	30.61 ↑	大分県	31.72 ↑
岐阜県	22.78 ↑	宮崎県	12.21 ↑
静岡県	27.76 ↑	鹿児島県	8.86 ↑
愛知県	39.56 ↑	沖縄県	21.71 ↓
三重県	31.49 ↑	全国	37.73 ↑

